

令和7年2月13日

あなたが支える市民活動応援事業 補助金交付申請書

大分市長 足立 信也 殿

団 体 名	大分市大南地区文化財同好会
代 表 者 名	会 長 西 哲弘
所 在 地	大分市大字中戸次 4491-2 (大分市大南公民館内)
電 話	097-597-0259
担 当 者	
担当者連絡先	

あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第5条の規定により、次のとおり申請します。

記

1. 事 業 名 大南地区文化財等保存及び継承事業

2. 事業の概要 大南地区では、多くの歴史や文化財・史跡・民俗資料・名勝等があり、これらを調査研究し、地域住民や地区外からの来訪者を対象に、講演会や史跡等の案内、機関誌「落穂」の発刊、文化財の清掃作業等に取り組み、先人たちが残した貴重な文化財の維持、保存を図るとともに若い世代や次世代に調査資料等を引き継ぎ、故郷を愛する精神を育て、地域の活性化に繋げる。

3. 事 業 費 290,000円

4. 交付申請額 170,000円

5. 概算交付 ☒概算交付を希望する。
☐概算交付を希望しない。

※注意 概算交付を受けるには、過去に当該事業で補助を受けた実績が必要です。

6. 添付書類 (1) 団体調書(様式1-1、1-2)
(2) 事業計画書(様式2)
(3) 収支予算書(様式3)
(4) 団体要件・事業要件確認シート(様式4)
(5) 誓約書(様式5)
(6) 規約、会則、定款等の写し
(7) その他市長が必要と認める書類

- (i. 本制度に関する予算については、3月の第1回定例会での予算可決をもって決定されます)
(ii. この内容は、大分市ホームページ等で公表いたします。)

団 体 調 書

1 団体の概要

団 体 名	(ふりがな) おおいたしだいなんちくぶんかさいどうこうかい 大分市大南地区文化財同好会				
住所	〒879-7761 大分市大字中戸次4491-2				
代表者氏名	(ふりがな) にし てつひろ 西 哲弘		FAX (団体)	097-597-6605	
電話 (団体)	097-597-0259		E-mail (団体)		
設立年月日	昭和39年6月1日	ホームページ	有 ・ (無)	団体構成員数	50人
活動の分野 ※別表参照	主分野 (1つ)	6	その他の 分野	2・3・4	
連絡責任者 ※この申請について問い合わせをしたときに対応できる方	住所				
	氏名	(ふりがな) [REDACTED]	FAX	[REDACTED]	
	電話	[REDACTED]	E-mail	[REDACTED]	
主な活動地域	☐ 市内全域 ☐ 大分中央 ☐ 大分東部 ☐ 大分西部 ☐ 大分南部 ☐ 南大分 ☐ 鶴崎 ☒ 大南 ☐ 植田 ☐ 大在 ☐ 坂ノ市 ☐ 佐賀関 ☐ 野津原 ☐ 明野				
団体の活動目的 ※簡潔明瞭に記入してください	大南地区内の文化財・天然記念物・史跡・民俗資料・名勝等を調査研究し、講演会や広報活動により、小中高生や地域住民及び大分市民に情報発信することで、若い世代に受け渡し、青少年に夢を与えると同時に、文化財等を保存・継承することを目的に事業を展開している。				
これまでの 主な活動実績	年度	事業名		実施回数	参加者数
	令和 4	「落穂」第88号の編集発刊、講演会、史跡調査、県内外者史跡案内等		21回	521名
	令和 5	「落穂」第89号の編集発刊、講演会、史跡調査、県内外者史跡案内等		21回	523名
	令和 6	「落穂」第90号の編集発刊、講演会、史跡調査、県内外者史跡案内等		21回	520名
これまでに補助 や委託を受けた 実績	年度	補助 (委託) 元	補助事業名		金額
	令和 4	大分市	1%応援事業		170,000円
	令和 5	大分市	1%応援事業		170,000円
	令和 6	大分市	1%応援事業		158,500円

2 活動計画書

事業の実施に関する事項

(1) 公益的活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施 予定回数 (延べ)	予 算 額 (千円)
1%応援事業補助対象 事業を記載 大南地区 文化財等保存 及び継承事業	地域・市民を対象 に地域の歴史を 学ぶ勉強会・体験 学習の開催	5月 ～ 2月	大南公民館 大南市民センター 小・中学校	500人	18	20
	ウォーキング大 会及び観光客等 の現地説明案内	通 年	大南地区内 の史跡	200人	4	10
	機関誌「落穂」 91号発刊	5月、9月 11月、3月	大南市民センター 大南公民館	30人	6	185
	史跡等清掃・草刈 り整備、資料保存	11月	鶴賀城他	20人	6	65
	合戦まつりの開 催時、来訪者に 「戸次川の合戦」 の史実等の説明	11月の 第2土曜日	大野川合戦 まつり会場	200人 (来場者)	1 (随時対応)	10
小計					35(a)	290(c)

(2) その他の活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定 日 時	実施予定 場 所	受益対象者の 予定人数 (延べ)	実施 予定回数 (延べ)	予算額 (千円)
会員研修 交流事業	総会や研修等 で会員の相互 研鑽を図る	6月, 11月	大南市民セ ンター	80人	2	20
小計					2(b)	20(d)

合計	(a)+(b) 37	(c)+(d) 310
----	---------------	----------------

カテゴリーごとの公益的活動の割合 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	(a)/(a)+(b)	(c)/(c)+(d)
	95%(A)	94%(B)
全活動に占める公益的活動の割合 {(A)+(B)}÷2×100 ※ 小数点以下は四捨五入してください。	95%	

事業計画書

事業の名称	大南地区文化財等保存及び継承事業	
事業内容	主な対象者	大南地区内外の大分市民、国立国会図書館、県立図書館、市民図書館
	内容	○大南地区内の文化財・天然記念物・史跡・民俗資料・名勝等を調査・研究し、機関誌「落穂91号」に掲載し情報発信する。 ○県内外から訪れた方々に史跡等の案内を年間通じて行う。 ○小中高生や会員等に講演や研修会を実施、また、小学生向けの歴史のリーフレットの作成。若い世代に引き継ぎ青少年に夢を与えとともに、文化財を保存・継承することを目的に事業を展開している。
事業スケジュール ※別紙添付可	時期(月)	内容 5月 令和7年度役員会①、「落穂91号」編集部会①、調査部会① 〃 仮称「大南歴史かるた」編集会議 6月 令和7年度総会・研修会 8月 機関誌「落穂91号」編集部会② 10月 大南公民館主催の大南地区の小学生を対象にした体験学習や行事の一環として、歴史学習を実施予定 11月 役員会②、調査部会② 〃 鶴賀城・鏡城跡・合戦まつり会場等の清掃、草刈り活動 〃 大野川合戦まつりでの「戸次川の合戦」のガイダンス 〃 令和7年度秋季研修会、機関誌「落穂91号」発行 12月 機関誌「落穂92号」編集会議① 〃 仮称「大南歴史かるた」編集会議 2月 役員会③、仮称「大南歴史かるた」編集会議 3月 機関誌「落穂92号」編集会議② ※年間を通じて 会員による文化財・史跡の調査及び保存等を行う。 市内外からの観光客を対象に、史跡巡りの案内や説明を行う。
広報計画・方法	☐ ホームページ ☒ チラシ、広報誌 ☐ Facebook等のSNS ☐ その他(具体的に) 機関誌「落穂」を会員・関係機関への配布。新聞での情報発信。 大野川合戦まつりでのガイダンス時の広報。来訪者へのチラシ配付。	
自己収益金の拡大に向けた取り組み	大南公民館で実施している歴史関連教室や史跡めぐりの来訪者等に対して、会員になっていただくよう、積極的に勧誘する。	
見込まれる効果	①大南地区内の文化財・天然記念物・史跡・民俗資料・名勝等を調査研究し、機関誌「落穂」に記録することにより、後世に継承することができる。 ②地域住民に文化財等の保護を図ることができる。 ③小中学生に地域の文化財等の大切さを教え、郷土愛を育てることができる。 ④県内外の来訪者に史跡等の案内をすることにより、地域の活性化に繋がる。	
新規事業・継続事業の別	※ 申請事業について、該当する□にチェックしてください。 ☐ ① 1%応援事業の交付申請をするのは初めてである。 ☒ ② 以前に1%応援事業の交付申請をしたことがある。	

収支予算書

事業の名称： 大南地区文化財等保存及び継承事業

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	170,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入	100,000	50人分
事業収入	20,000	「落穂」販売
その他		
合 計	290,000	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費	20,000	講師謝金 (県内2名)
旅 費	0	
消 耗 品 費	10,000	コピー用紙、文具類、清掃道具他
燃 料 費		
食 糧 費	10,000	現地視察研修等のお茶代
印 刷 製 本 費	225,000	「落穂91号」発刊、増刷、写真データ保存作成委託等
通 信 運 搬 費	15,000	総会や研修会案内の切手・ハガキ代
広 告 料		
保 険 料		
手数料・委託費	10,000	史跡周辺整備委託料
使用料・賃借料		
原 材 料 費		
備 品 購 入 費		
合 計	290,000	

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。